

第25回〈ケア〉を考える会-岡山

■日時 **2016年5月29日(日) 14:00~16:30**

■会場 **川崎医療福祉大学 本館6階6001演習室**

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/access/index.php/>*

※建物の1階(防災センター)から備え付けのスリッパに履き替えてお上がり下さい。

駐車場は、福祉大学の職員・学生駐車場(病院とは道をはさんで北側)をご利用ください(1時間100円)。

■会費：無料 どなたでも参加できます。

■テーマ **「在宅という鉱脈 [症例検討]」**

鷺田清一・徳永進 著 『ケアの宛先』(雲母書房)

P.191~P.233 をもとに、話し合います。



鷺田清一さんと徳永進さんの「対話」から、私たちは、多くのものを学びます。

〈ケア〉について見直しを迫られます。発見があります。

〈ケア〉の深遠さを思い知ります。

この「対話」に参加してみませんか。

はじめての方も、お気軽にどうぞ。

■呼びかけ人

大賀由花(赤磐医師会病院/看護師)、
河合清志(社会福祉士)、
小林真美、
清水昭雄(管理栄養士)、
田中順子(川崎医療福祉大学/作業療法士)、
林道也(社会福祉士)、
平松邦夫(社会福祉士)、
松川絵里(カフェフィロ副代表)

■参加申し込み・問い合わせ

884michiya@gmail.com 090-5366-1497(林)

※ ホームページもご覧ください ⇒ <http://okayama-care.jimdo.com/>



「〈ケア〉を考える会-岡山」とは……

▼岡山(倉敷)で、〈ケア〉について学び考えています。

〈ケア〉といえば、「看護」「介護」「支援」「世話」などが頭に浮かびます。超高齢社会を生きる私たちにとって、切実な課題の一つです。そして、〈ケア〉は、もっと広く捉えることもできます。たとえば広井良典氏は、ケアを「人と人との間の『関係性』という意味に理解してみたい」と述べ、さらに、個人がコミュニティや自然などにつながっていくような方向でもケアを考えます。「『ケアの哲学』とでもいうようなものが必要」とも言っています。また、鷺田清一氏は「臨床哲学」の重要テーマの一つに「ケア論」を置き、「ケア」の奥深さをさまざまに説いています。それに、「死生観」、「生」と「死」について、リビングウィル、終末期医療も、〈ケア〉を抜きには考えられません。

この会では、〈ケア〉について、身近なところから理念的なものまで、そして、狭い意味からから広い意味まで、幅広く深く考えていきます。

▼この会の参加者は、医療・看護・介護・福祉・教育などの現場、または地域や家庭などで〈ケア〉に関わっている方、大学や学校で〈ケア〉の教育・研究に携わる方や学んでいる方、さらに、その他、〈ケア〉に関心や関係のある方などです。〈ケア〉に関わる人たちが学び交流することで、明日からの力を得る〈場〉となることを願います。この会は参加者の「つながり」を大切にします。